

ダイビングスクール マレア沖縄・宮古島・石垣島 ファンダイビング申込書

参加日	年 月 日 ~ 年 月 日	生年月日	年 月 日
フリガナ		性別	年齢
氏名		男・女	歳
住所		TEL	
緊急連絡先	住所:	TEL	
	氏名: 続柄:		
Cカード団体: <input type="checkbox"/> PADI <input type="checkbox"/> その他【 】		Cカードランク: <input type="checkbox"/> OWD <input type="checkbox"/> AOW <input type="checkbox"/> RED <input type="checkbox"/> MSD <input type="checkbox"/> DM <input type="checkbox"/> その他【 】	
Cカード取得日:	年 月	最終ダイブ:	年 月
経験本数: 本			
沖縄でのダイビング回数: <input type="checkbox"/> 初めて <input type="checkbox"/> 2回目 <input type="checkbox"/> 3回以上		マレアのご利用回数: <input type="checkbox"/> 初めて <input type="checkbox"/> 2回目 <input type="checkbox"/> 3回以上	
一緒に潜ったことのあるスタッフはいますか? <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり: スタッフの名前【 】			
不安や苦手なこと【 】 例: 潜降、耳抜き、船酔い、中性浮力 など			
リクエスト・ご要望【 】 例: 写真を撮りたい、スキルアップしたい など			
エンリッチドエア・ナイトロックスの使用について <input type="checkbox"/> SP 資格を所持 <input type="checkbox"/> SP 資格を取得したい <input type="checkbox"/> SP 資格なし			
ドリフトダイブ・ディープダイブ・水中写真などの SP コースについて <input type="checkbox"/> 参加したい <input type="checkbox"/> 興味あり <input type="checkbox"/> 希望しない			

PADI 安全潜水標準実施要項了解声明書

注意して読んだ後にご署名下さい。

この声明書は、スキン・ダイビング、スクーバ・ダイビングを安全に行うために必要なことを知っていただくためのものです。これらを再確認し、了解していただくためにまとめられたものであり、ダイビングをするにあたっての快適度や安全性を増していただくために作成されています。

私 _____ (氏名を楷書で)は、ダイバーとして以下の事項を守るべきであることを了解しています。

- 精神的にも身体的にもダイビングに適したよい体調を維持します。ダイビングに影響を与えるアルコールや薬物は控えます。つねに十分なスキルレベルを維持し、継続教育を通じてスキルレベルを高めます。ある期間ダイビングから遠ざかっていたときは、安全なコンディションのもとでスキルの復習をしてコースで使用したテキストを読み直して重要なダイビングに関する知識をリフレッシュします。
- 私が潜るダイビング・ポイントをよく知ります。初めて潜る場合やダイビング・ポイントの情報が不足している場合は、知識豊かな現地スタッフなどから正式なオリエンテーションを受けます。私が経験したことのある環境よりもコンディションが悪い場合には、ダイビングを延期するか、あるいは良いコンディションのダイビング・ポイントを代替地として選ぶようにします。私の受けたトレーニングや経験にあったダイビング活動にのみ参加するようにします。専門のトレーニングを受けていない場合は、ケーブあるいはテクニカル・ダイビング活動に参加しません。
- よく手入れされていて、使い慣れている器材を使用します。器材は各ダイビング前に正しく調整し、きちんと作動するかチェックします。スクーバ・ダイビングを行うときは必ず BCD と残圧計を使用します。ダイビングをするときは中圧インフレーター(パワー・インフレーター)付きの BCD、残圧計、ダイブ・プランニング/モニタリング器材(使い方の講習を受けたダイブ・コンピューターや RDP/テーブル)を使用します。認定を受けていないダイバーに私の器材を使用させません。
- ブリーフィングや注意事項、その他ダイビングに関する説明や指示をよく聞いて、私のダイビング活動を監督する人のアドバイスに敬意を払います。また、特別なダイビング活動への参加、不慣れた地域でのダイビング、6 カ月以上ダイビングをしていない場合などは追加のトレーニングが必要であることを認識しています。
- ダイビング中は、最初から最後までバディ・システムを守ります。水中での連絡方法や万一離れ離れになったときに再集合するための方法、緊急手順などのダイブプランをバディと一緒に計画します。
- ダイブ・プランニングに熟達します(ダイブ・コンピューター、RDP/テーブルで)。すべてのダイビングを安全マージンのあるノンストップのダイビングで行ないます。水中では水深や時間をモニターする計器を使用します。ダイビングの最大深度は、私のトレーニング・レベルと経験の範囲内に制限します。1 分間 18 メートルより遅い速度で浮上します。S.A.F.E.ダイバーになること— Slowly Ascend From Every dive(すべてのダイビングでゆっくりと浮上)を心がけます。水深 5 メートルで 3 分間あるいは用心してさらに長く安全停止をします。
- 正しい浮力を維持します。BCD に空気を入れなくても中性浮力になるように、水面でウエイト調整をします。水中では中性浮力を保ち、水面移動するときや水面で休息するときにはプラス浮力を確保します。ウエイトはいつでも捨てられるようにしておき、トラブルのときは浮力を確保します。少なくとも 1 個の水面用シグナル(シグナルチューブ、ホイッスル、ミラーなど)を携帯します。
- ダイビング中は正しい呼吸を維持します。圧縮空気を吸っているときには絶対に息ごらえやスキップ呼吸をしません。また、スキン・ダイビングなどの息ごらえダイビングでは、過剰なハイパーベンチレーションを避けます。水面、水中を問わず、水中にいるときは動きすぎて疲れてしまわないようにし、私の能力の限界内でダイビングします。
- 可能な限り、ポートやフロート(浮具)、その他の水面用ステーションを設置して使用します。
- 各ダイビング・ポイントでの漁業規則や、ダイブ・フラッグの使用など、ダイビングに関する法律や規則やルールを守ります。

私は、上記内容をよく読み、不明な点に対しては説明を受け、納得しました。私は、これらの実施要項の重要性と目的を理解しました。これらを守ることが私自身の安全と楽しみのために必要であることを理解し、ダイビングするにあたって、これらの実施要項を守らない場合には私自身を危険な状況においてしまう可能性があることを認識しています。

参加者署名

日付

未成年者の場合は、親権者または保護者の署名

日付